

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月31日

上場会社名 FDK株式会社

（コード番号：6955 東証第一部）

（URL <http://www.fdk.co.jp>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 杉本 俊春

責任者役職・氏名 財務経理部長 辻井 浩二 TEL(03)3434-1271

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上基準・・・法定実効税率を用いた簡便法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 （除外）1社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	88,436	17.1	1,078	33.3	98	-	572	-
17年3月期第3四半期	75,496	0.3	1,617	-	33	-	1,473	-
(参考)17年3月期	100,441		1,542		456		2,713	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	4.47	-
17年3月期第3四半期	11.52	-
(参考)17年3月期	21.20	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年第3四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期までの当社グループを取り巻く環境につきましては、原油価格の高騰による原材料価格への影響が強まるなか、薄型テレビや携帯電話などの市場拡大に伴い、電子部品の需要が増加いたしました。

当社グループにおきましては、第1四半期において、事業構造の見直しから進めたプラズマディスプレイ製品から液晶ディスプレイ製品へのシフトにより、一時的に固定費が吸収できず損失を計上しましたが、第2・第3四半期においては、電子部品市場の拡大を背景に新製品の液晶バックライト用インバータモジュールなどが伸長し、それぞれ四半期ベースにおいては、利益を計上いたしました。

当第3四半期までの累計売上高につきましては、前年同期に比べ17.1%増の884億36百万円となりましたものの、損益面につきましては、第1四半期に計上した損失の影響が大きく、累計では、営業利益が前年同期比33.3%減の10億78百万円、経常損失98百万円、純損失5億72百万円となりました。

<ご参考> 四半期（3ヵ月）ベース毎の経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
18年3月期第1四半期(3ヵ月)	25,609		405		752		874	
18年3月期第2四半期(3ヵ月)	31,698		823		233		41	
18年3月期第3四半期(3ヵ月)	31,129		660		421		261	

次に、事業別の売上概況についてご報告いたします。

[電子事業]

液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、台湾、中国などで需要が増加し、前年同期を大幅に上回りました。液晶バックライト用インバータモジュールは、大型液晶テレビ向けが市場で評価され、韓国向けを中心に伸長しました。プラズマディスプレイ用ハイブリッドモジュールおよびスイッチング電源は、前年同期を下回りました。コイルデバイスは、大型液晶テレビ向けに開発した液晶バックライト用インバータトランスが市場で高く評価され、前年同期を大幅に上回りました。積層チップパワーインダクタは、携帯向けを中心に製品ラインアップの充実と販売の強化に努め、前年同期を上回りました。モータはOA市場向けの売上高が前年同期を下回りましたものの、デジタルカメラおよびカメラ付携帯電話向けの超小型モータが伸長し、前年同期を上回りました。

この結果、第3四半期までの電子事業全体の累計売上高は前年同期に比べ23.1%増の707億25百万円となりました。

[電池事業]

アルカリ乾電池は、国内において、市場競争が激化するなか、主力製品のハイグレードアルカリ乾電池「Gシリーズ」およびさらなる高性能化を実現した「G PLUS」の販売強化に取り組みましたものの、期初における北米市場向けの売上減少の影響が残り、第3四半期までの電池事業全体の累計売上高は前年同期比1.9%減の177億11百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	81,247	9,015	11.1	15.51
17年3月期第3四半期	71,485	2,168	3.0	14.31
(参考)17年3月期	71,366	1,234	1.7	21.61

注) 1株当たり株主資本は、優先株式による第三者割当増資110億円を除いて算出しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	6,018	2,435	4,085	9,907
17年3月期第3四半期	5,741	2,701	3,494	8,853
(参考)17年3月期	3,254	3,034	462	9,876

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上の増加に伴う一時的な売掛債権および棚卸資産の増加などの資金減少がありましたものの、債権流動化の促進ならびに買掛債務の増加による資金増加により、60億18百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、モジュールシステム事業などへの設備投資に伴う支出により24億35百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株発行に伴い70億円の収入がありましたものの、借入金の返済を進め40億85百万円の減少となりました。

その結果、現金および現金同等物の当第3四半期残高につきましては、前年度末に比べ31百万円増加の99億7百万円となりました。

以上

[参考]

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通期	118,500	1,200	600	3,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 27円35銭

[業績予想に関する定性的情報等]

別紙リリース「平成18年3月期の業績予想の修正について」をご参照願います。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

第3四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	平成18年3月期 第3四半期末 (平成17年12月31日)	平成17年3月期 第3四半期末 (平成16年12月31日)	増 減	平成17年3月期 (平成17年3月31日)
		金 額	金 額		金 額
資 産 の 部					
流 動 資 産		54,219	45,684	8,534	45,678
現 金 及 び 預 金		9,937	8,879	1,058	9,894
受 取 手 形 及 び 売 掛 金		30,092	23,366	6,725	24,040
た な 卸 資 産		10,199	9,298	900	7,991
そ の 他		4,078	4,215	136	3,873
貸 倒 引 当 金		88	74	14	121
固 定 資 産		27,028	25,800	1,227	25,687
有 形 固 定 資 産		23,926	23,039	886	22,796
無 形 固 定 資 産		710	763	53	724
投 資 そ の 他 の 資 産		2,462	2,093	527	2,237
貸 倒 引 当 金		69	96	26	70
資 産 合 計		81,247	71,485	9,762	71,366
負 債 の 部					
流 動 負 債		64,971	60,230	4,740	62,464
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		32,898	23,693	9,205	21,364
短 期 借 入 金		27,711	32,595	4,884	37,421
そ の 他		4,361	3,942	804	3,677
固 定 負 債		6,715	8,545	1,829	7,133
長 期 借 入 金		1,427	3,928	2,500	2,306
退 職 給 付 引 当 金		5,174	4,534	640	4,723
そ の 他		114	83	53	103
負 債 合 計		71,687	68,776	2,911	69,598
少 数 株 主 持 分					
少 数 株 主 持 分		545	540	4	533
資 本 の 部					
資 本 金		22,756	19,256	3,500	19,256
資 本 剰 余 金		17,135	13,635	3,500	13,635
利 益 剰 余 金		30,391	28,721	1,669	29,893
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		22	12	9	16
為 替 換 算 調 整 勘 定		483	1,993	1,510	1,759
自 己 株 式		24	20	3	21
資 本 合 計		9,015	2,168	6,846	1,234
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計		81,247	71,485	9,762	71,366
有 利 子 負 債 残 高		29,138	36,523	7,385	39,728

第3四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	平成18年3月期 第3四半期		平成17年3月期 第3四半期		増減率	平成17年3月期	
	自平成17年4月1日 至平成17年12月31日		自平成16年4月1日 至平成16年12月31日			自平成16年4月1日 至平成17年3月31日	
	金 額	対売上高比	金 額	対売上高比		金 額	対売上高比
売 上 高	88,436	%	75,496	%	%	100,441	%
売 上 原 価	79,055	100.0	65,765	100.0	17.1	87,861	100.0
売 上 総 利 益	9,381	89.4	9,731	87.1	20.2	12,579	12.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,302	10.6	8,113	12.9	3.6	11,037	11.0
営 業 利 益	1,078	9.4	1,617	2.1	33.3	1,542	1.5
営 業 外 収 益	1,152	1.3	519	0.7	121.8	728	0.7
受 取 利 息	33		20			50	
そ の 他	1,118		499			678	
営 業 外 費 用	2,329	2.6	2,170	2.8	7.3	2,727	2.7
支 払 利 息	560		568			721	
そ の 他	1,769		1,601			2,006	
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ()	98	0.1	33	0.0	-	456	0.5
特 別 利 益	186	0.2	165	0.2	12.5	165	0.2
土 地 売 却 益	186		165			165	
特 別 損 失	61	0.1	783	1.1	92.2	1,430	1.4
異 常 操 業 損 失	61		-			-	
製 品 不 具 合 対 策 費 用	-		452			893	
損 害 賠 償 金	-		330			365	
有 形 固 定 資 産 除 却 損	-		-			171	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 損 失 ()	26	0.0	651	0.9	-	1,721	1.7
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	543	0.6	649	0.8	16.3	853	0.9
法 人 税 等 調 整 額	35	0.0	42	0.1	15.9	28	0.0
少 数 株 主 利 益	19	0.0	131	0.2	84.8	110	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 四 半 期 (当 期) 純 損 失 ()	572	0.6	1,473	2.0	-	2,713	2.7
金 融 収 支	505	0.6	522	0.7	-	654	0.7

第3四半期 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成18年3月期 第3四半期		平成17年3月期 第3四半期		平成17年3月期	
	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日	
	金 額		金 額		金 額	
(資 本 剰 余 金 の 部)						
資本剰余金期首残高		13,635		13,635		13,635
資本剰余金増加高						
増資による新株の発行	3,500	3,500	-	-	-	-
資本剰余金四半期末(期末)残高		17,135		13,635		13,635
(利 益 剰 余 金 の 部)						
利益剰余金期首残高		29,893		27,023		27,023
利益剰余金増加高						
在外子会社の会計通貨変更による利益剰余金の増加高	74		-		-	
連結子会社増加による利益剰余金の増加高	-	74	-	-	68	68
利益剰余金減少高						
四半期(当期)純損失	572		1,473		2,713	
連結子会社の連結会計期間の変更に伴う利益剰余金の減少高	-	572	223	1,697	223	2,937
利益剰余金四半期末(期末)残高		30,391		28,721		29,893

第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成18年3月期 第3四半期	平成17年3月期 第3四半期	増 減	平成17年3月期
	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日	自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日
	金 額	金 額		金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純損益	26	651	677	1,721
減価償却費及び連結調整勘定償却額	2,691	2,965	274	3,846
売上債権の増減額	4,432	6,066	10,499	4,604
たな卸資産の増減額	1,802	837	965	891
仕入債務の増減額	9,585	710	10,296	3,401
その他	48	1,091	1,042	965
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,018	5,741	277	3,254
投資活動によるキャッシュ・フロー				
短期投資等の増減額	11	11	0	3
有形固定資産の取得及び売却	2,366	2,259	107	2,560
投資有価証券の取得及び売却	1	2	0	3
関係会社出資金の取得	50	427	377	427
その他	5	0	4	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,435	2,701	265	3,034
財務活動によるキャッシュ・フロー				
新株発行による収入	7,000	-	7,000	-
借入金増減額	11,067	3,411	7,656	385
その他	17	83	65	76
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,085	3,494	590	462
現金及び現金同等物に係る換算差額	533	53	586	96
現金及び現金同等物の増減額	31	508	539	145
現金及び現金同等物の期首残高	9,876	9,097	778	9,097
連結子会社の連結会計期間の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	-	440	440	440
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加高	-	-	-	660
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少高	-	176	176	176
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	9,907	8,853	1,053	9,876